

学力向上への取組の改善・充実を図りましょう！

西部管内では、5つの小中学校が「確かな学力」研究推進校事業(県教委)の指定を受け、「教育課程の改善・充実(授業改善)」「指導体制の工夫・改善」「教員の指導力の向上」「家庭・地域との連携」の4つの視点を基に、全校体制で学力向上に取り組んでいます。各指定校の取組の一端を4つの視点に沿ってまとめましたので、これらを参考に、自校の学力向上への取組の改善・充実を図りましょう。

◇◇◇教育課程の改善・充実(授業改善)◇◇◇

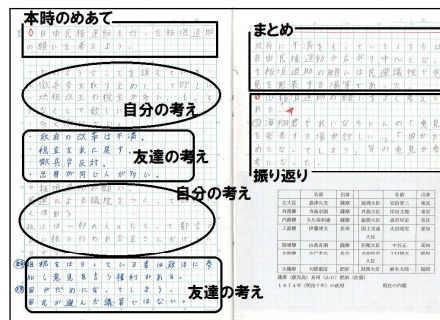
学校全体で子ども主体の授業づくりに取り組むには、全教職員で目指す授業像を共有する必要があります。めあての提示や振り返りの時間の確保など、全教職員で統一した指導を実践し、児童生徒が主体的に課題解決に向けて取り組めるようにしましょう。

富岡市立一ノ宮小学校では

- I 全教科において、ノートの取り方を全校で統一しています。友達の考えのよさは青、まとめは赤で記入することにより、考えの広がり意識したり、次時の学習へ生かすことができたりするノート作りを心がけています。
- II 学びを実感できる板書やノートの取り方とリンクした見やすい板書を心掛け、めあてやまとめ、児童の考えなどをどのように板書するのかを全校で統一するようにしています。
- III 授業の最後の振り返りの視点を、①めあてに対する振り返り、②授業で分かったこと、できるようになったこと、分からなかったこと・困ったこと、③友達の考えで参考になったこと、④その他(思ったこと、次時の課題)の4つの中から選んで提示し、1単位時間の学びを実感できるように工夫しています。



板書することやノートに書かせること、振り返りの際に児童に書いてほしいことなどを教師が予想・設定しておくことにより、目指す子どもの姿が明確になり、目的をもって、発問したりグループ活動をさせたりすることができるようになってきました。



【社会科のノート】

藤岡市立北中学校では

- I 全教職員が統一した過程で授業が進められるよう「藤岡北中授業スタンダード」を作成しました。「1単位時間の中で課題把握とまとめを必ず位置付ける」ことや「本時で活用する既習内容を明らかにしてから授業を始める」ことなどを、学校全体で実践するようにしています。
- II 授業のねらいに迫る生徒の学び合いの活動を「言語活動I」、学級全体で学習内容についてまとめる活動を「言語活動II」としました。これらの活動を1単位時間に必ず位置付け、思考力・判断力・表現力を育む課題解決的な学習を組み立てるようにしています。



「藤岡北中授業スタンダード」を作成し、1単位時間の組み立てを統一したことにより、生徒が考える場面や時間を意図的に設定したり、生徒の考えを基に授業を進めたりすることを、全教職員が意識するようになってきました。

【言語活動の位置付け】

導 入	○課題を確認し、学級全体で共有する。 ○既習内容を基に、自分の考えを構築する。
展 開	○自分の考えを他者の考えと比べながら検討する。 ○他者の考えと比べることにより、さらなる気づきが生まれたり、自分の考えを修正したりする。
ま と め	○課題解決と自分なりに得た学びを互いに発表し、共有する。 ○自分の考えを確かなものとする。

今後の指定校の公開授業研究会 >

- 富岡市立一ノ宮小学校・・・平成27年11月19日(木)
- 安中市立西横野小学校・・・平成27年11月27日(金)
- 藤岡市立北中学校・・・平成28年1月28日(木)



一ノ宮小学校の発表は、学力向上コーディネーター研究協議会(小学校)として実施します。西横野小学校と藤岡北中学校については、案内に従って申し込みをしてください。学力向上コーディネーター以外の先生方も、是非、指定校の実践を参観してください。